

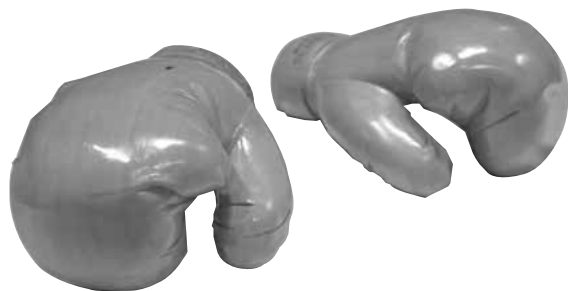


■山田洋次記念賞 『縁日花火』

作者／梅野浩壺さん（富山県南砺市）

毎年やってくる縁日。夜になれば光り、浮かび上がる夢の世界。しかし、楽しい日々も時間が経てばなくなってしまうもの。

まるで、パッと大輪の花を咲かせて、すぐに消えてしまう花火のようです。



■優秀賞 『ボクシンググローブ』

作者／武田睦史さん（北海道岩見沢市）

やわらかい感じができるように努力しました。



■実行委員会特別賞 『繰り返しみる夢の記憶』

作者／藤本明洋さん（埼玉県さいたま市）

「クジラ」と「ヒト」をモチーフに作品を制作しました。

生命の源は海にあるといわれ、夢のような永い時間を経て、あるものはクジラに、またはヒトに、もしくは他の生き物になりました。

きっと私たちの中のどこかにあるに違いない「皆で共有できる夢のような記憶」のことを考えながら、この作品を制作しました。

■養父市ふるさと賞 『結の舟』

作者／鬼塚良昭さん（宮城県東諸郡高岡町）

海から誕生した地球号は、ふるさとの森へ向かって進み続けています。古代からの時の流れを弓や弦の形で、大切な生命のつながりを結（ゆい）の形で表現してみました。

ふるさとの森で地球号が奏でる音楽を想像してみてください。



■優秀賞 『かえる日和』

作者／橋本美緒さん（愛知県愛知郡長久手町）

かわいくて美しい形のものだけが生きているのではないと感じます。小さい頃、おじいちゃんの家の前で、小さなかえるが大きな猫に飛びついたその時、はげしくて小さな命を見つけました。



■大衆賞 『日課“合掌”』

作者／高田 豊さん（兵庫県豊岡市）

“三度々々の上膳据膳の境遇に、又先祖や先立った夫の霊に合掌の日々”そんな晩年の母の在りし姿を像にしてみました。

